

民俗芸能に学ぶ地域づくり ～獅子踊りがつなぐ人と地域～

地域に伝わる民俗芸能から地域づくりのヒントを学びます！



民俗芸能や民俗行事といった地域に根ざした営みは、地域づくりにどのように関わっているのでしょうか。今回は、現在わずか3世帯が暮らす米沢市綱木地区に伝わる「綱木獅子踊り」を手がかりに、民俗芸能の継承や、これからの地域づくりのヒントを探ります！

令和7年 **11** 月 **30** 日【日】

時 間 14：00～16：30（30分前受付開始）

対象者 地域づくりや地域学実践団体、教育機関、域活性化に関わる行政担当者、関心がある方

参加費 無 料

定 員 先着40名

会 場 遊学館 第3研修室
〒990-0041 山形市緑町1丁目2-36

申 込 下記申込フォームかFAX（裏面）でお申込みください。

内 容

14：00 開会・オリエンテーション

14：10 ミニレクチャー

「綱木獅子踊りの歴史と今」 菊地和博氏

15：00 インタビュー・トークセッション

「綱木獅子踊りの担い手育成」

中川光雄氏（綱木獅子踊り保存会会長）

加藤雅和氏（綱木獅子踊り保存会副会長）

菊地和博氏（東北文教大学名誉教授・山形県民俗芸能懇話会会長）

廣瀬隆人氏（一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事）

<申込み・問合せ先>

〒990-0041 山形市緑町1-2-36

山形県生涯学習センター

山形県地域づくり実践交流集会担当

TEL：023-625-6411

FAX：023-625-6415

E-mail yama@gakushubunka.jp

主催 （公財）山形県生涯学習文化財団

後援 山形県教育委員会



申込フォーム

講師プロフィール

ゲストスピーカー 綱木獅子踊り保存会

米沢市綱木地区は福島県会津地方と米沢地方を結ぶ会津街道の宿場町として栄えましたが、鉄道の普及で役割を失い昭和40年頃から人口が急減、現在は3世帯3人のみが暮らしています。綱木獅子踊りは江戸時代上期から約400年続くとされ、先祖供養と五穀豊穡を祈る伝統芸能で、「関東肥挾踊り」「角田中村踊り」「十七下り」などの三つの踊りがあり、全40演目で構成されています。かつては8月14～16日の3日間に各家を訪れ夜通し踊りましたが、現在は15日昼に円照寺境内跡で踊られています。保存会は地区外の協力者も含む男女25名で構成され、月1回米沢市南原コミュニティセンターで練習しています。

講師・インタビュアー 菊地 和博 氏（東北文教大学名誉教授・山形県民俗芸能懇話会会長）

専門は民俗学、民俗芸能論。日本民俗学会会員・民俗芸能学会評議員。伝承文化支援研究センター長。著書に、『東北の民俗芸能と祭礼行事』（単著、清文堂2017）、『民俗行事と庶民信仰』（単著、岩田書院2015）、『東北の民俗歴史論－儀礼・祭礼・芸能－』（単著、清文堂2025）などがある。真壁仁・野の文化賞受賞（2013年）、齋藤茂吉文化賞受賞（2016年）。

コーディネーター 廣瀬 隆人 氏（一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事）

専門は地域づくり、社会教育など。北海道生まれ。宇都宮大学教授などを歴任。宇都宮市在住。長年、山形県内の社会教育関係職員研修ほか様々な研修の講師を務める。山形県生涯学習センター「山形学」アドバイザー、山形県地域コミュニティ支援アドバイザー。

遊学館へのアクセス

<駐車場>

遊学館駐車場もしくは県営駐車場をご利用ください。所定の手続きをしていただくと、割引が適用されます。

<JR山形駅から>

山形駅から山形市役所経由路線バスで市役所前下車、徒歩5分



※表面の申込フォームまたは、下記の必要事項を明記しE-mail、FAXにてお申込みください
申込締切：11月21日（金）

氏名	所属・団体
〒・住所	電話番号 F A X
E-mail	託児 有 ・ 無

【送付先】山形県生涯学習センター FAX：023-625-6415 E-mail：yama@gakushubunka.jp